

LOGOS HOLDINGS ESG DATA BOOK 2024

2024年5月期

編集方針

「ESG DATA BOOK 2024」は、ステークホルダーの皆様に対し、マテリアリティを中心とした、ロゴスホールディングスグループのESGに関する取り組みへのご理解を深めていただくことを目的に、当社グループのESG関連データをまとめたものです。集約した情報・データはESGの項目別に整理し、一覧性を高めています。

当社グループのESGへの取り組みについては、当社サステナビリティサイト（URL掲載）および2025年6月に発行予定の「統合報告書」（URL掲載）にも掲載いたしますので、併せてご覧ください。

発行時期

2025年6月5日発行

報告対象期間

2023年6月1日～2024年5月31日（2024年5月期）

※一部前後の期間の活動を含みます。

報告対象範囲

株式会社ロゴスホールディングスおよび連結子会社6社

用語の定義

本報告書においては、特段の記載がない限り、「当社」は（株）ロゴスホールディングスを、「当社グループ」は（株）ロゴスホールディングスおよび国内の連結子会社すべてを示します。集計範囲が異なる場合は、表・図に個々に記載しています。

目次

編集方針・目次	1
---------	---

環境

マテリアリティ1：環境にやさしい社会の実現	2
-----------------------	---

社会

マテリアリティ2：多様な人材が安心して活躍できる環境の整備	4
-------------------------------	---

マテリアリティ3：地域社会への貢献	11
-------------------	----

マテリアリティ4：安全・安心な住環境の提供	13
-----------------------	----

ガバナンス

マテリアリティ5：ガバナンスの強化とコンプライアンスの推進	16
-------------------------------	----

環境

マテリアリティ 1：環境にやさしい社会の実現

-ありたい姿-（2030年まで）

住宅を通じた環境負荷の低減も推進することにより、持続可能な社会の実現に貢献する

KPI	単位	年次目標（2024年5月期）	実績と取り組み（2024年5月期）	目標達成状況
環境管理体制の構築、強化	—	・CO2排出量削減のプラットフォーム導入。 ・CO2排出量可視化の社内環境整備。	・プラットフォーム導入済み。 ・上記プラットフォームを導入したため、CO2排出量可視化も完了（以後は「CO2排出量」、「再生可能エネルギー利用量」のKPIにて具体的な数値を管理予定）。	達成
CO2排出量	%	・削減計画の作成。 ・2023年5月期に対し、CO2排出量5%削減。	・2023年5月期のデータをプラットフォームへ入力、集計して実績を把握。削減計画作成については今後検討。 ・CO2排出量削減のために、拠点の電力切り替えの検討を開始。	進行中
再生可能エネルギー利用量	%	・再エネ設備導入計画作成。 ・再エネ電源構成比率15%。	・既存拠点の太陽光設備の設置状況および新設・増設の可否の調査を実施。設備導入計画については今後検討。 ・再エネ電源構成比率確認中。	進行中

環境

KPI	単位	年次目標（2024年5月期）	実績と取り組み(2024年5月期)	目標達成状況
モジュール住宅 建設の推進	—	- 産業廃棄物の再生（再生率目標数値）。 - ガラスくず、陶磁器くず：30% - 廃プラスチック類：10% - 紙くず：50% - 木くず：100% - 廃石膏ボード：20% - 仙台工場計画。	- 前期に選定した再生先にて産廃回収開始済。 - 仙台工場の建築に向け、事業計画の作成。東北エリアの資材依頼先や原価を調査。	進行中
次世代環境配慮型 住宅の開発と普及 促進	—	- ZEH仕様の商品をメイン商品として販売開始。 - ロゴスホームにてフォルテージシリーズの40年保証体制スタート。	当初左記の目標にて活動したものの、全社的に「ライフステージに合わせた住み替え提案」というコンセプトへ変わったため、目標を再設定中。	—
ZEH販売率	%	- ZEH 棟数比率(NearlyZEH・オリエンテッド含む)において以下の目標を達成する。 - ロゴスホーム(北海道)：50.0% - ロゴスホーム(東北)：100.0% - ロゴスホーム(ハウジングカフェ)：90.0% - 豊栄建設：80.0% - GALLERYHOUSE：50.0%	2024年5月期時点のグループ各社のZEH棟数比率は以下の通り。 - ロゴスホーム(北海道)：93.5% - ロゴスホーム(東北)：100.0% - ロゴスホーム(ハウジングカフェ)：96.1% - 豊栄建設：88.7% - GALLERY HOUSE：62.5%	達成

マテリアリティ 2：多様な人材が安心して活躍できる環境の整備

-ありたい姿-（2030年まで）

多様な人材がより健康的かつ柔軟に働くことができ、やりがいを持って個人も企業も成長し続けることができるような環境を整備する

KPI	単位	年次目標（2024年5月期）	実績と取り組み（2024年5月期）	目標達成状況
女性管理職比率	%	・2025年までに女性管理職比率をグループ全体平均で15%へ引き上げ ・女性管理職比率向上には、女性の長期雇用が前提であり、雇用を継続できる環境作りのための新しい施策や取り組み内容を具体的に検討する。制度改定が伴う場合は、改定に伴う影響も検討する。年度内に、新しい施策・取り組みを1つ以上実施する。	・女性管理職比率：10.3%（2023年5月期：13.0%）…昨年より全体的に比率が低下しているが、組織の集約に伴う全体の管理者数減少の影響が出ているもので、実質的には大きな変更はなし。 ・女性管理職比率向上のための前提として、以下の長期雇用施策を実施。 - 女性離職者の離職理由の分析 - 男女間の賃金差の分析 - ジョブリターン/アルムナイ制度の開始 ・2023年7月の各社人事考課にて、積極的な女性昇格を実施。	進行中

社会

KPI	単位	年次目標（2024年5月期）	実績と取り組み（2024年5月期）	目標達成状況
新卒採用女性比率	—	・段階的なインターンシップの実施より、学生に対して早期にアプローチし、翌年の就職活動時の選択肢に入るとともに、会社説明会等の開催と多段階選考により、各社の社風に合う学生を採用する（前年度の反省を踏まえ、毎年ブラッシュアップする）。 ・女性スタッフに対して必要と考えられるフォロー・サポート体制、新たな取り組み内容を検討する。	・インターンシップ開催実績：計16回（参加者延べ189名、うち女性115名）。 ・2025年5月期：入社者数は38名となり前期比約1.5倍に増加。うち33%が女性。 ・人事との新卒向け1on1 MTGの中で必要と考えられるフォローを実施。	進行中
障がい者雇用率	—	・昨年度に引き続き、募集を継続し、ロゴスホームで2名採用を目標とする。 ・障がい者雇用の啓発活動に関する今年度の取り組みを検討し、実施する（障がい者に関する紹介制度について検討する）。	・今年度の募集はなし ・「企業グループ算定特例制度」の活用も視野にいれ、当社にて募集準備を開始。	進行中

社会

KPI	単位	年次目標（2024年5月期）	実績と取り組み（2024年5月期）	目標達成状況
ダイバーシティに関する研修の実施回数	回/%	- 前年度実施したLGBT研修の振り返りを行い、今年度の従業員向けの研修テーマと内容を決定する。 - 研修テーマは、2つ以上を選定し、年1回の研修を実施する。受講率は100%を目標とする。	- 前年度の振り返り実施 - 以下の研修テーマを選定。実際の研修実施は来期以降で検討。 - ダイバーシティ経営の考え方の浸透（女性活躍、障がい者雇用、シニア層など） - 多様化するハラスメント防止（セクハラ・パワハラ、マタハラ、アルハラ、LGBTなど）	進行中
長時間労働者率	回/%	- 人員計画を立案・実績管理し、適正人員の確保を行い、取り組み中のDXプロジェクトを継続するとともに、今年度に新規でスタートするプロジェクトもしっかり進捗させる。 - 長時間労働に対する意識改革、仕事の管理能力向上のため、管理職向けの労務管理研修を年1回実施 - 長時間労働者率は、2%以内を目標とする。	- 積極的に中途採用活動と派遣スタッフ受入れを実施し、適正人員を確保。 - 顧問弁護士を講師に迎えた管理職向け労務管理研修をeラーニングで随時受講できるように設定 - 長時間労働防止として、PCの電源管理（20時シャットダウン）を実施するとともに、36協定時間（月45h以内6ヵ月）に抑制するよう管理を実施。	進行中

社会

KPI	単位	年次目標（2024年5月期）	実績と取り組み（2024年5月期）	目標達成状況
テレワーク推進率	%	・以下の取り組みにより、2024年までにテレワーク率を3ポイントアップ（2023年比）させる。 - 更なるDX化の推進により、テレワーク環境で対応可能な業務を増やす。 - 顧客に対するオンライン商談の課題を分析し、比率を向上させる。 - 定期的にテレワーク率を社内に通知し、推進を促す。 ・ESGアワードに続く表彰制度をロゴスホーム以外でも考案する。	・対面コミュニケーションの重要性が再認識されたこと、既に20～30%のテレワーク率を達成していることを踏まえ、今後はテレワークと出勤のバランスに着目したKPIを検討する予定。	達成

社会

KPI	単位	年次目標（2024年5月期）	実績と取り組み（2024年5月期）	目標達成状況
人材定着率	—	・ 1on1 MTG、指導係研修について、改善点を修正したうえで、年1回以上実施する。入社3年目の新卒社員向けキャリアデザイン研修を年1回以上実践する。 ・ LOGOS ROOKIES SESSION（以下LRS、内製の新入社員研修）を他の事業会社に横展開し、事業会社同士のつながりを強化するとともに、若手人材の成長を促す。 ・ 各社で実施する従業員満足度調査（以下ESS）の結果を分析し、翌年に向けての改善項目を決定のうえ実行する。	・ 教育・研修制度の充実として、外部講師による階層別研修（新卒向け（初回・フォローアップ）、指導係向け、中堅管理職向け、上級管理職向け）を実施。 ・ グループ全社の新卒1年目社員に対して、LRS研修および人事との新卒向け1on1 MTGを実施。 ・ ESS調査を2月中旬に実施し、次年度の取り組み内容を検討。	進行中

社会

KPI	単位	年次目標（2024年5月期）	実績と取り組み（2024年5月期）	目標達成状況
ESSの若手人材の満足度	%	・1on1 MTG、指導係研修について、改善点を修正したうえで、年1回以上実施する。入社3年目の新卒社員向けキャリアデザイン研修を年1回以上実践する。 ・人事制度に対する満足感や納得感があるか、各社で実施する従業員満足度調査（ESS）の結果を分析し、翌年に向けての改善項目を決定のうえ実行する。グループ4社（ロゴスホールディングス、ロゴスホーム、豊栄建設、GALLERY HOUSE）の「ESS意識・意欲」項目の平均73%超過を目標とする。	・教育・研修制度の充実として、外部講師による階層別研修（新卒向け（初回・フォローアップ）、指導係向け）を実施。 ・グループ全社の新卒1年目社員に対して、LRS研修および人事との新卒向け1on1 MTGを実施。 ・今期のESS調査において、グループ4社（ロゴスホールディングス、ロゴスホーム、豊栄建設、GALLERY HOUSE）全てで従業員満足度は上昇した（0.4%～3.0%）。昨年のESS結果を受けた今期の各社取り組みは全て対応完了。今期は、IPOに向けて会社全体の体制整備と大幅な賃上げを実施しており、これらも満足度向上に寄与したと考えられる。	達成

社会

KPI	単位	年次目標（2024年5月期）	実績と取り組み（2024年5月期）	目標達成状況
従業員のキャリア 選択支援の充実	—	・1on1 MTG、指導係研修について、改善点を修正したうえで、年1回以上実施する。入社3年目の新卒社員向けキャリアデザイン研修を年1回以上実践する。 ・給与制度と評価制度見直し後の不備等を洗い出し、改善する。 ・クラウド人事労務ソフトに人事情報を格納し、人材マネジメントが可能となるDBを構築する。同ソフトの機能を確認しながら、人材情報の活用方法を検討する。	・教育・研修制度の充実として、外部講師による階層別研修（新卒向け（初回・フォローアップ）、指導係向け）を実施。 ・グループ全社の新卒1年目社員に対して、LRS研修および人事との新卒向け1on1 MTGを実施。 ・各社の賞与考課、給与改定考課について、上長と部下の面談実施は定着。今後はキャリア選択支援の充実に取り組む。 ・クラウド人事労務ソフトを全社員に対して活用開始。	進行中
スキル制度の構築	—	・研修推進組織（プロジェクト）を中心として、教育体系図と研修メニューの一覧を作成する。（将来のキャリアプラン等の人材育成方針や人事制度との整合性も踏まえた議論が必要であり、外部コンサルを活用する予定）。 ・宅建士資格取得のための施策を継続するとともに、建築士資格取得のための施策も検討する。	・スキルシート・スキルマップ作成をできる限り現行の枠組みの中で実現できないか検討。 ・管理職研修とメンター研修を中心に今後も外部講師による研修を継続することで決定。 ・宅建士資格取得のための施策を継続	進行中

社会

マテリアリティ 3：地域社会への貢献

-ありたい姿-（2030年まで）

居住者や近隣住民の皆さまと共生・発展していくために、地域に根差した貢献活動を継続的に実施する

KPI	単位	年次目標（2024年5月期）	実績と取り組み（2024年5月期）	目標達成状況
OB感謝祭の参加人数（延べ人数）	組	- 札幌・帯広エリアでの500組の参加。 - 札幌…豊栄・ロゴス計 最大300組 - 帯広…ロゴス計 最大250組	- OB感謝祭は、都合により今期の開催は中止。 - 他社主催のマイホームフェスへ参加し計31組来場。 - 下期よりGALLERY HOUSEの実績カウント開始。OBをご招待する「わくわく祭り」を毎月開催しており、下期は18組参加。	進行中
地域貢献活動に対する従業員の参画人数（延べ人数）	人	- 参加者合計33名。 - 勝毎花火大会：計21名参加 - モデルハウスプロデュースプロジェクト：計12名参加 ※重複参加者は1名でカウント ※来期の花火大会人数は今期ベースで算出 - 次年度地域貢献活動計画に伴う、参加従業員人数の策定。	- 計画通り合計33名が参加。 - 次年度地域貢献活動計画を策定中。	進行中

社会

KPI	単位	年次目標（2024年5月期）	実績と取り組み（2024年5月期）	目標達成状況
グループ全体で地域貢献活動を推進するための仕組みづくり	—	- モデルハウスプロデュースプロジェクトの横展開（他エリア・他商品）。 - 他の店舗（帯広など）へ展開、他の大学へ展開・他企業を巻き込んだ展開（食品・小売など）。 - 横展開の検討時期：9月頃予定。	- 第一回モデルハウスプロデュースプロジェクトは全12回のカリキュラム完了し、モデルハウスをオープンさせることができた。 - 第一回プロジェクトの実施を通して、横展開のためプロジェクトの実施内容や回数などの型を精査。	進行中
各拠点での主体的な地域貢献活動の新規実施件数	件	- 今年度の地域貢献活動計画の策定、実施。 - モデルハウスプロデュースプロジェクトの横展開検討（他エリアで実施：2回）。	- 今年度はモデルハウスプロデュースプロジェクトに集中する計画。 - 第一回プロジェクトの実施を通して、横展開のためプロジェクトの実施内容や回数などの型を精査。	進行中
新たな地域貢献活動に関連するニュースリリース数	—	メディア掲載先の拡大。	モデルハウスプロデュースプロジェクトについて、プレスリリース1件、TV放映計5回。	達成

マテリアリティ 4：安全・安心な住環境の提供

-ありたい姿-（2030年まで）

リモート化を主軸にし、顧客に寄り添ったサービスを展開することで、あらゆる人が安心して生活できる住環境を持続的に提供する

KPI	単位	年次目標（2024年5月期）	実績と取り組み（2024年5月期）	目標達成状況
施工管理ツール 活用率向上	%	【ロゴスホーム】 ・自主検査実施率：80%以上 ・写真登録実施率：80%以上 【豊栄建設】 ・定められた内容の報告業務：90%以上 【GALLERY HOUSE】 ・自主検査実施率：100% ・写真登録実施率：100% ・ゼロ災害活動の注意喚起	【ロゴスホーム】 ・自主検査実施率：58% ・写真登録実施率：98%、 【豊栄建設】 ・定められた内容の報告業務：84% 【GALLERY HOUSE】 ・自主検査実施率：100% ・写真登録実施率：100% ・ゼロ災害活動の注意喚起継続	進行中
顧客への情報提供 のDX化推進	—	・請負契約の完全オンライン化。 ・基幹システム内で契約締結確認まで完了できる状態。 ・電子で商談記録管理できる状態。	・請負契約の完全オンライン化に向け、請負契約動画作成中。 ・基幹システム内で契約締結確認まで完了できる状態を実現 ・ロゴスホームはカタログを完全電子化へ移行。	進行中

社会

KPI	単位	年次目標（2024年5月期）	実績と取り組み（2024年5月期）	目標達成状況
希望者に対する リモートサービス 提供率	%	- 希望者に対するリモートサービス提供率：85% - リモートサービスのメニュー拡張 - リモートメニュー提示率：100%	- 希望者に対するリモートサービス提供率：100% - オンライン希望者に対するメニュー提示率：100%	達成
全点検に占める リモート実施率	%	【ロゴスホーム】 - リモート点検実施率：50% 【豊栄建設】 - リモート点検実施率：20% 【GALLERY HOUSE】 - リモート点検実施率：30%	【ロゴスホーム】 - リモート点検実施率：18.0% 【豊栄建設】 - リモート点検実施率：19.6% 【GALLERY HOUSE】 - リモート点検実施率：26.1%	進行中
ホールディングス 全体の品質の 統一化と底上げ	—	【基幹システム利用推進】 - 新フロー運用率：100% - 新フロー正常稼働率：80% - 業務フロー、システムの改善フロー、窓口部門の確立。 【サービス向上のための体制整備】 - 不具合に関する再発防止策立案率：90% - 不具合に関する再発防止案実施率：90%	【基幹システム利用推進】 - 新フロー運用率：100% - 新フロー正常稼働率：80% - R00T LINKを窓口として総務とも協働した改善フロー確立。 【サービス向上のための体制整備】 - 不具合に関する再発防止策立案率：90% - 不具合に関する再発防止案実施率：80%	進行中

社会

KPI	単位	年次目標（2024年5月期）	実績と取り組み（2024年5月期）	目標達成状況
品質検査の評価点	—	【ロゴスホーム】 ・全支店評価点：92点以上 ・全棟検査実施率：100% 【豊栄建設】 ・検査平均評価点：95点以上 ・全棟検査実施率：100%	【ロゴスホーム】 ・全支店評価点：通期累計平均95.4点 ・全棟検査実施率：100% 【豊栄建設】 ・検査平均評価点：95.2点 ・全棟検査実施率：100%	達成
品質検査の取引先評価システムの構築	—	・業者評価システムの構築。 ・システムの運用。	・業者評価システムの構築完了 ・来期以降導入に向けて準備	進行中
顧客満足度の向上	—	・アンケートの設問内容、実施時期の統一。 ・アンケートの5段階評価による数値目標：平均3.5以上 ・アンケート結果の商品、サービスへの反映。お客様の声より生まれたまたは改良された商品、サービスについてのレポート発信。	・全社統一に向け、電子化および自動集計できるような形へ移行中 ・評価点の調査については、アンケート内容を統一のうえ、来期より再開 ・アンケートによるお客様の声を反映した商品、サービスの開発、改良は、アンケート内容を統一のうえ、来期より具体的に検討	進行中

ガバナンス

マテリアリティ 5：ガバナンスの強化とコンプライアンスの推進

-ありたい姿-（2030年まで）

ステークホルダーからの信頼・期待に答える誠実な事業活動を推進するとともに、透明・公正かつ迅速な意思決定を行うことによって持続可能な経営を実現する

KPI	単位	年次目標（2024年5月期）	実績と取り組み（2024年5月期）	目標達成状況
ESGの取り組みに関する理解度調査	%	- ESG理解度 80%以上 - 各KPI進捗、活動状況の全社共有による理解の促進、理解度測定の実施。	- ESG理解度 72.8% - 各社の経営方針発表会にて2023年5月期のESG活動報告を実施	進行中
ESG活動や企業理念の体現活動の社内表彰	—	- ESG賞ノミネート数8組以上 - ノミネート率向上の発信、共有方法の検討。	【ロゴスホーム/豊栄建設/GALLERY HOUSE】 - ESG賞ノミネート数3組 - 経営方針発表での社内表彰及び周知完了 【ロゴスホールディングス】 - 経営方針発表で再周知し、来年度の表彰に向けて準備	進行中

ガバナンス

KPI	単位	年次目標（2024年5月期）	実績と取り組み(2024年5月期)	目標達成状況
内部通報制度に関する理解度調査	—	- 研修実施（1回）。 - 理解度アンケート実施と測定（達成率80%以上）。 - 達成率向上のための施策検討。 - 通報数をカウント。	- 掲示板にて相談窓口ポスター周知。 - 理解度アンケートは来期に実施計画中。 - 新入社員研修およびぶちコンプラ研修にて周知を実施。	進行中
コンプライアンス研修の受講率	%	受講完了率100%。	3ヵ月に1度のeラーニング（計4回）を実施。1回目：99.8%、2回目：100%、3回目：100%、4回目：100%	進行中
協力会社向けコンプライアンス理解浸透活動	—	- 啓発活動を2回実施・APへ通報窓口の周知文を掲載。 - 理解度調査の実施（目標：理解度80%）。 - 調査の結果、課題のある先に対する是正要請。	- 各社のエリア別安全大会すべてにおいて研修完了済み。 - 理解度調査の結果、「理解できた、まあまあ理解できた」との回答は、91%。 - 調査の結果、今期課題のある先と判断された協力会社は無し	達成
ガバナンス体制の強化	—	- 課題調査の実施。 - 課題解消に向けたアクションプランの制定。 - モニタリングの実施。	- 基本原則遵守状況調査の実施。 - コーポレートガバナンス報告書のドラフトを作成し、基本原則（5原則）の遵守を確認。 - 基本原則の遵守状況をモニタリング。	進行中